

グループナンバー

選手氏名

7/14 各選手開始時間

AM	・	ブルズアイ	プレート	番レンジで
PM	・	シルエット		スタート!

あなたは、点以上の得点を挙げると、ランクアップした
バッジの申請が可能になります。バッジの申請は、大会当日に限ります。
※マスターバッジ・アドバンスバッジについては本文4、5ページをご覧ください。

- ・競技説明は オープンサイト部門 9:20
フリーサイト部門 12:30 より各1回のみ行います。
- ・上記ご自分の開始時間の 30分前までに エントリー手続きを終えてください。
これに遅れると、棄権扱いになり出場できません。
- ・ご自分のグループの競技開始 10分前には 上記開始レンジ前に、競技選手/待機選手共集合
してください。これに遅れた場合も、棄権扱いになり出場できません。

東日本大震災復興支援 ～ とどけよう スポーツの力を東北へ! ～



第23回 APS カップ本大会 公式レギュレーションブック

ハンドガン クラス

2013. 7. 14 (日) 8:40 ~ 15:40

東京都立産業貿易センター 台東館 4階特設フロア

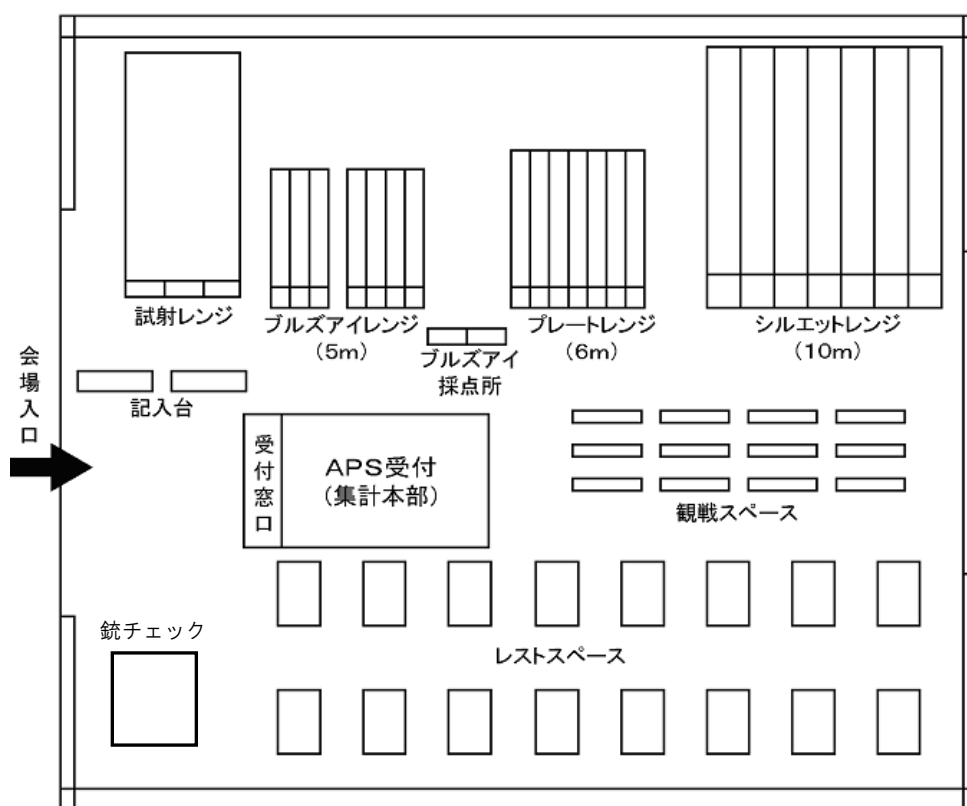
主 催：特定非営利活動法人 日本エアースポーツガン協会 (JASG)
共 催：有限会社 マルゼン (共催協力) 株式会社 ケーエスシー
後 援：日本エアースポーツガン振興協同組合・公益社団法人日本近代五種協会
近代3種学生連合・一般社団法人日本バイアスロン連盟
協 力：月刊コンバットマガジン・月刊 Gun Magazine・SAT マガジン



第23回APSカップは、スポーツ振興くじ助成事業です。

第23回APSカップ ハンドガンクラス 会場レイアウト

※レイアウト、内容は当日変更する場合があります。



— C O N T E N T S —

1. APSカップについて…3	8. 競技説明……………15～25
2. 安全確保のためお願い…3～4	9. APS公式競技会について ……26
3. マスターバッジ制度…4～5	10. ハンドガン・グランドチャンピオン…26
4. APSカップスタッフ…5	(付録) ターゲット・パーソナルデータ…27～29
5. 表 彰……………6	■日本エアスポーツガン協会ユーザー会員について…………30
6. 参加規則……………6～10	◆会場地図 (浅草全景) ……31
7. 競技進行……………11～15	●ハンドガンクラス ターン表…………32

注意事項

- 主催者が設けるレギュレーションその他全ての規約、規則及び指示に従ってください。
- 参加選手としてマナーを守り、APSカップの円滑な運営、進行に協力してください。
- 玩具銃の使用に際して、APSカップ開催中は安全を第一に考慮し、事故の防止に努めてください。
- 自らの健康管理に細心の注意を払い、APSカップおよびその付帯行事の開催中、参加に当たって関連して起きた負傷その他の事故の場合にも、自己の責任において一切を処理してください。
- APSカップおよびその付帯行事の開催中、所持品に対する一切の責任は所持者自身に帰するものとします。
- APSカップ参加申込書に記入した氏名等の個人情報について、個人情報の保護に係る法令を遵守し、もっぱらAPSカップおよびAPS競技に係る公式競技会の円滑な運営を行う目的で、主催者がこれを使用します。
- APSカップおよびその付帯行事に係る報道および告知について、各媒体報道および主催者が、参加選手の名前および写真を使用することができます。また、APSカップに関する参加選手の肖像権は主催者に帰属します。
- 一旦納入した参加料は返金いたしません。
- 不可抗力その他の事由によって競技が変更または中止になったときでも、参加料が返金されない場合があります。

1. APSカップについて

日本エアースポーツガン協会（JASG）が主催するAPSカップは、エアースポーツガンによるスポーツシューティングを追求する競技会です。

レギュレーションは、まずエアースポーツガンをスポーツとして安全に楽しむことを最重視して設定されています。各クラスの3競技はシンプルであり、さらにジャッジスタッフが1対1で説明を行いながら競技進行しますので、初参加者から経験者まで幅広い選手が、安心して参加可能な楽しめる競技会となっています。

APSカップは、「精密射撃」を軸に構成されています。精密射撃は、自己の集中力をコントロールして満足できる結果をターゲットに残すという精神的な一面と、その集中力を競技中変わらず持続させる肉体的な一面を合わせもつ、武道にもつながる高度なスポーツです。

各選手はフェアプレー精神に則り、安全に、真剣に、そして楽しく競技に臨み、自己の目標に向かってください。

2. 安全確保のためのお願い

銃の取扱いについて

会場外では、銃はセフティをかけるなど最も安全な状態にしてケース・カバン類に入れ、銃を露出させずに持ち運んでください。

会場内であっても、銃を手を持つ場合は、受付時に交付される銃口カバーなどを必ず装着し、銃からBB弾、マガジンを抜き、常時セフティをかける等、その銃の最も安全な状態に保ってください。

競技レンジ内においても、ジャッジの指示があるまで、セフティの解除等を行わないでください。競技レンジ内で銃を取り扱っている最中に銃口が隣の選手や観客などを向かないよう、注意を払ってください。競技終了後は必ずセフティをかけ、銃の内部に残ったBB弾を抜き、マガジンを外し、銃口カバーを銃に装着するなど、銃を最も安全な状態にしてから競技レンジ外へ出てください。

以上の規定に反したときは、出場停止や出場後の全競技失格などの措置をとる場合があります。

眼の保護について

競技レンジ、試射レンジ内及びその付近では、必ず眼の保護具を着用してください。JASG加盟メーカー製のゴーグルや実銃用のシューティンググラス等がベストですが、通常の眼鏡・サングラス、フェイスマスク等も選手の自己責任において着用を認めます。各レンジにはレンタルグラスも準備しています。保護具を着用しないで競技を行うことは、できません。

競技以外での銃の発射禁止について

ジャッジスタッフの許可を得ないで、競技レンジなど指定された場所以外でBB弾を発射することは、絶対に禁止します。このような発射によって、自分を含めた人・動物・施設に弾を当てた場合は、たとえ暴発した場合でも、全競技失格とします。

競技終了後、銃からBB弾を抜くため等で発射する場合も、ジャッジに申告し指示に従ってください。絶対にジャッジの許可がないまま発射しないでください。たとえ空撃ちをする場合であっても、ジャッジの許可を得てください。

18歳未満の選手の出場について

18歳未満の選手は、保護者が同伴しない限り、認められません。ご注意ください。

3. マスターバッジ制度

APSカップでは、マスターバッジ制度を導入しています。この制度は、全ての選手が入賞以外にも自己の目標を定めて、競技に取り組めるようにするものです。

マスターバッジ制度には、2種類のバッジを設定しています。1つは3競技総合得点が各タイトル規定点以上を記録した選手を対象とし、その実力を証明するマスターバッジ（5タイトル）、もう1つはアドバンス規定点内でAPSカップ参加回数2回以上の選手を対象としたアドバンスバッジ（1タイトル）です。

●マスターバッジについて

3競技総合得点が規定点以上の選手のみに申請する資格が与えられます。マスターバッジはその保持者（選手）が到達したそのタイトルを永続的に証明するものです。もし後の大会で保持タイトルの規定点を下回る得点で競技を終えた場合でも、一度獲得したバッジタイトルはステータスとして保証します。

マスターバッジの申請は選手が各バッジタイトルの規定点を初めて更新した時に1回のみ受け付けます。両部門を通して1回のみです。部門が変わっても同一バッジの2度目の申請はできません。ハンドガン／ライフルのクラス別では各々申請できます。

マスターバッジ各タイトル規定点（200点満点）

バッジタイトル名	オープンサイト 部 門	フリーサイト 部 門	バッジイラスト
グランドマスター	185～200	195～200	
マスター	180～184	190～194	
エキスパート	160～179	170～189	
シャープシューター	130～159	140～169	
マークスマン	100～129	110～139	

紛失等による再発行は行いませんので、管理には注意してください。ただし、保持者のデータはコンピューター管理していますので、先の大会でタイトルを更新すれば上位のタイトルバッジの申請は受け付けます。なお、破損等による再発行は交換を条件に行います。

一つのクラスにおいて過去に獲得したマスターバッジは、部門を移動して参加しても保証されます。反面、今回参加する部門において、タイトル規定点を越えなければバッジ申請はできません。
★本年6/30現在、最高位タイトルである グランドマスター 保持者は、11名です。

●アドバンスバッジについて



過去の最高得点がアドバンス規定点内（オープンサイト部門94点以下、フリーサイト部門104点以下）であり、その得点から5点以上の得点アップを遂げた選手が申請できるバッジです。マスターバッジ保持者は対象としません。また、マスターバッジと異なり何度でも申請できます。このバッジの対象選手は表紙に申請可能点数が記入されていますので、その得点を越えた場合のみ申請してください。ただし、マスターバッジ規定点に達した選手はアドバンスバッジの申請はもうできませんので、マスターバッジのみを申請してください。

過去の最高得点を取得した部門と異なる部門に出場する場合

オープン → フリー……ハンディキャップとして10点加算します。その得点から5点アップした選手がアドバンスバッジ対象になります。

フリー → オープン……アドバンテージとして10点減算します。その得点から5点アップした選手がアドバンスバッジ対象になります。

※マスターバッジ及びアドバンスバッジは、必ず本人が申請を行い、受け取ってください。バッジの授与は大会当日のみとなります。後日の郵送等はいりません。

4. APSカップスタッフ

APSカップは競技運営委員長をトップに約35名のスタッフが自ら企画を行って運営しています。スタッフは、フレンドリーな対応で選手と接し、全ての選手がリラックスしながら競技を行える環境を提供するよう心がけています。

スタッフは、会場内外における安全確保という役割も担っています。もしスタッフから注意を受けた場合、速やかにその指示に従ってください。

各競技のジャッジスタッフは、得点決定の絶対権限を持ちます。もっとも、採点の際は選手の立場になって処理するよう努めています。

スタッフはJASGロゴ入りの白いポロシャツを着用しています。ご不明な点や質問等がありましたらお気軽に相談してください。大会当日、レギュレーションの解釈について問題が生じた場合は、競技運営委員長が裁定を下します。ご不明な点があれば、事前にお問い合わせください。



←JASGロゴ

5. 表 彰

ハンドガンクラスは部門別に総合1～6位の選手を表彰します。協賛メーカー賞は、返却された選手ネームプレートを用いた抽選方式を採ります。

協 賛 メ ー カ ー 賞（協賛メーカー賞は全て抽選です。）

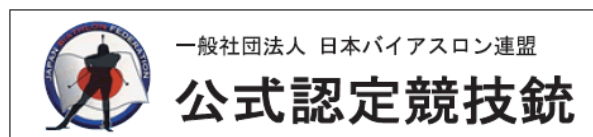
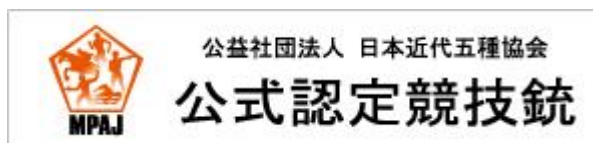
部門別にそれぞれの表彰式後、その部門の選手のみを対象に抽選を行います。抽選には各選手のネームプレートを使用しますのでご自分の3競技終了後、受付にある抽選ボックスへ必ず安全ピンを閉じてご返却ください。返却されないと抽選の権利は失われます。当選者が不在（代理は基本的に認めません）、上位入賞者、各賞受賞者の場合はこの賞の対象としませんので、再抽選を行います。当選者照合には各自のレギュレーションブックを使用しますので当選時にご提示ください。

★その他、各賞も予定。

6. 参加規則

APSカップで使用する事ができる銃は、JASGと、公益社団法人 日本近代五種協会または一般社団法人日本バイアスロン連盟（旧社団法人日本近代五種・バイアスロン連合）の認定する公式認定競技銃に限ります。ただし、公式認定競技銃であっても、下記の使用銃に関する規定に違反している場合、出場することはできません。

公式認定競技銃シール→



公式認定競技銃

※2013年6月30日現在

	ハンドガン	ライフル
マルゼン製	APS-1 グランドマスター APS-3 (いずれも、各種限定生産品を含む)	APS-2 オリジナル (OR)・ 同スナイパーバージョン (SV)・ 同ロングレンジバージョン (LRV) (EXその他各種限定生産品を含む) APS SR-2 (LRVを含む) APStype96
ケーエスシー製	GP100 (GP110・GP100S・GP110Sを含む) AP200 (AP210・AP200S・AP210Sを含む)	GR1000 AR2000
ハドソン産業製	プリシーダー (プリシーダーSを含む)	

★部門別・使用銃に関する規定

オープンサイト部門：①オープンサイトを備えた・②ハンドガンで、3競技に出場する部門。

①オープンサイト

オープンサイトとは、眼とターゲット間にレンズ等の一切の光学機器類（眼鏡、コンタクトレンズ、ゴーグルは除く）を持たない素通しのサイトのことです。ピープサイト類はオープンサイトとしますが、ポイント（：ダット）サイト、レーザーサイト（規制準拠品に限る）はフリーサイト部門扱いになります。また、タイプの違うオープンサイトを2種以上付けることを認めます。ただし、例えば4種付けたのなら、4種付けたままの状態でも3競技全てに挑んでください。重いから、調子が悪いからと1つを外したり、競技別に付け替えたり、付け足したりすることはできません。受付時にチェックを行ない、その後取り外し等が発覚した場合は失格になる場合があります。

②ハンドガン（サイズ・弾速等の規定）

JASG刻印が製品本体にあり、パワーがJASGの定める規定値*内で、1発ずつ6mmBB弾を発射できるエアスポーツガンのハンドガンであること。

*0.8J（ジュール）を基準とし、0.989J未満とします。



JASG安全シール→

エネルギー源（パワーソース）は、圧縮空気やガスなど自由に選択できます。ただし、パワーソースとなる圧縮気体（空気・ガス）を銃の外部から供給すること（例えば外部ガスタンクをガスガンに接続して使用すること）は、認められません。

元が長物（サブマシンガン含む）である銃をハンドガンサイズにしたとしても、そのような銃の出場は認めません。

発射に関係しない外装パーツ等の交換・自作（カスタム）は、オープンサイト部門の条件、および、銃保持についての規定（15ページ）を満たしていれば形状、色は自由です。ただしカスタムの限度として、その銃の市販時でのオリジナルパーツをおおよそ70%以上（著しく形状を変えない）使ってください。

JASGが認証したパーツについてはオリジナルパーツと同等に扱います。



認証シール→

また、バルンサーウエイト類で、そのパーツが銃の表面を移動することは構いませんが、途中取り外す・付け足すことは一切認めません。エントリー受付後、銃の仕様・弾速チェックの際に必ず申告してください。また、発射に関係するパーツの交換・自作を行っている銃については、エントリー受付後の銃の仕様・弾速チェックの際に、自己申告をお願いします。カスタムを行っても、オリジナル同等の機能を持つセフティは必ず残してください。

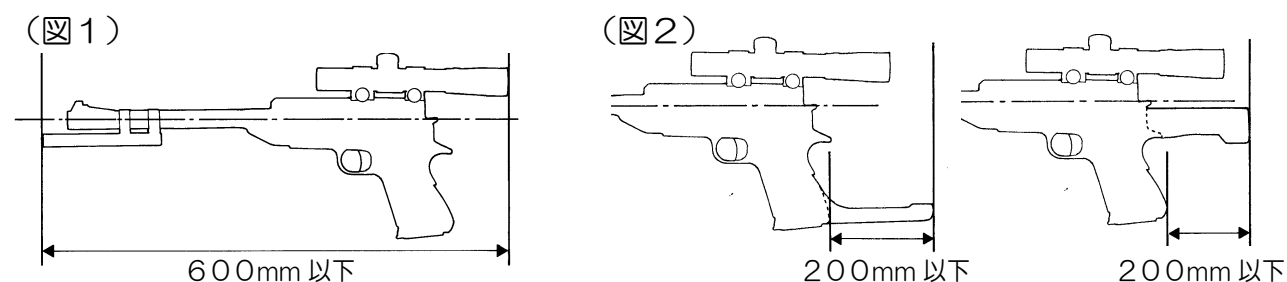
エントリー受付後の弾速チェックにおいて、パワーがJASGの定める規定値を超えた場合、その銃での参加は一切認めません。JASGの用意したBB弾を用いて、会場内に設置されている弾速測定器において現に表示された測定値を唯一の判断基準とします。パワーアップにつながる可能性があるカスタムやメンテナンスには、ご注意ください。弾速が規定値近辺に達するギリギリのセッティングを避け、十分に余裕をもった調整で競技に臨むよう、お願い致します。

弾速チェックに合格しなかった場合、出場をキャンセルするか、JASGで用意するレンタル銃で出場するか、いずれかを選択していただきます。出場キャンセルの場合、参加料はお返しします。

上位入賞者には表彰式前に再び測定器によるチェックを行う場合があります。もし入賞該当者銃のパワーがJASGの定める規定値を超えていた場合は入賞を取消し、バッジを含む全ての記録も失効となります。

サイズ規定 ※15ページの保持規定を厳守のこと。

全長は、サイト類・バランサー等付属品を全て含んだ状態で、600mm以下（図1）とします。バレルを水平の状態に計測してください。また、銃の後端部をバランサー等に用い伸長する場合、グリップ後端より200mm以下（図2）とします。



弾速規定（基準値：0.8J）

BB弾重量 (g)	0.20	0.25	0.29
弾速 (f/s)	292	262	243
弾速 (m/s)	89	80	74

エネルギー(J：ジュール)計算式

弾丸重量(g)×弾速(m/s)×弾速(m/s)÷2000

フリーサイト部門：①フリーサイトシステムを備えた・②ハンドガンで、3競技に出場する部門。

①フリーサイトシステム

スコープ、ポイント（：ダット）サイト、レーザーサイト（規制準拠品に限る）、オープンサイトも含めて、あらゆるサイトがすべて自由に選択できます。また、タイプの違うサイトを2種以上付けることも認めます。この点については、オープンサイト部門の①を参照のこと。

②ハンドガン オープンサイト部門の規定に準じます。

使用BB弾についての規定

使用弾はJASG加盟メーカー製の6mmBB弾がベストです。ハンドガン競技に必要なBB弾は35発です。試射用BB弾も合わせてご用意ください。

ジャッジスタッフ及び採点について

A P Sカップでは各競技とも選手1名に対してジャッジスタッフ1名が担当するマンツーマンジャッジ形式を採用しています。ジャッジスタッフはその場で、ファール（反則行為）の確認、警告及び得点算出を行い、ここで決定された得点が選手の記録となります。

競技後、ジャッジスタッフは①ジャッジスタッフ専用集計用紙（ブルズアイはターゲット2枚）と、②競技選手パーソナルデータの両方に得点を記入し、①の用紙だけにスタンプを押し、選手の確認を求めます。選手は①の得点を充分確認して同意のサインを行ってください。後は集計所にて管理します。サイン後の得点は一切変更できません。

両者のチェックのある①ジャッジスタッフ専用集計用紙だけが唯一の公式記録となります。②競技選手パーソナルデータは、ジャッジスタッフが記入こそしますが、選手自身が成績確認に用いるだけで、公式記録の効力はありません。万一、最終結果発表とパーソナルデータ上の得点が異なっていた場合も選手サインのある集計用紙のみを公式な判断基準として再度見直します。サイン時の得点確認は慎重に行ってください。

各レンジを担当するジャッジは公正で正確な採点を行うよう努めておりますが、選手のみなさまもルールおよび採点方法を充分熟知し、競技に臨んでください。ファールに関する判断もジャッジの重要な仕事です。もし、ファールを指摘された時は担当ジャッジの指示に必ず従ってください。場合によっては競技中（サイティング中）であっても警告します。ファール及びペナルティーについては各競技内容の項にあります。

一般禁止事項

以下の一般禁止事項は、開催中会場内外全てに適用されます。

1. 各競技時間に集合しない等、故意に競技の進行を遅らせた場合、該当競技失格とします。
2. 他の選手に対してヤジや行為による妨害を行った場合、全競技失格のうえ退場処分とします。
隣のレンジに入るなどして、他の選手の競技を妨害した場合、該当競技失格とします。
また、大声を発して他の選手の競技を妨げることをないようにしてください。
3. A P Sカップスタッフ（ジャッジを含む）に対して競技内容とは無関係のクレームを言ったり暴言を発したりしたときは、全競技失格のうえ退場とする場合があります。その他、競技者としてのマナーが欠如していると競技運営委員会が判断した場合、ペナルティーの対象とします。
4. カップ会場内ではフラッシュ撮影は絶対行わないでください。撮影時は競技選手やジャッジスタッフの邪魔にならないよう、充分注意して撮影位置を選んでください。競技中、報道関係者以外の方がジャッジの許可なく競技レンジ内で撮影することは、できません。撮影した写真は、個人的な使用以外の目的で使用しないでください。商用等の目的で使用する場合には、協会の許可が必要です。
5. 以上の禁止行為を行ったときは、選手か否かを問わず、会場より退場させる場合があります。
6. バッジ保持者が上記の禁止事項を行った場合、そのバッジは剥奪され記録も抹消されます。
なお、理由の如何に係わらず、再競技は基本的に行いません。

エントリー後の注意

お手元にレギュレーションブックが届いてから当日まで以下のことにご注意ください。

1. レギュレーションブック表紙記載の、部門の変更、競技時間の変更には一切応じられません。
遅刻による時間変更にも応じられませんので、ご注意ください。
2. 使用する競技銃の変更や仕様変更につきましては、各部門規定内であれば可能ですので、あらかじめJASGあてにご連絡ください。
また、大会当日受付後に行う銃の仕様・弾速チェックの後でも、最初に行う競技前までは故障等の理由で他の銃への交換、仕様変更も認めますので、ジャッジに申告し再度チェックを受けてください。ただし、1競技でも終了したならば、競技銃の交換および仕様変更は一切認めません。故障修理も競技間の通常の空き時間（約8分）においてのみ認めます。
銃本体に関する規定等で疑問点がございましたら、必ず事前に日本エアースポーツガン協会へお問い合わせください。
3. やむをえず出場を辞退される場合は、日本エアースポーツガン協会へ、必ずご連絡ください。
ただし、既にお支払いいただいた参加料は、お返しできません。ご容赦ください。
当日の無断欠場は大会進行の大きな妨げとなり、他の選手の迷惑にもなりますので、是非ご一報よろしく願いいたします。もし無断欠場された場合は、翌年以降のAPSCカップの参加申込をお断りすることがあります。
4. レギュレーションブックの再発行は基本的に行いません。カップ当日までに内容を熟読した上で、当日は必ずレギュレーションブックをご持参ください。
5. 会場に駐車場はございません。お車でのご来場は、ご遠慮ください。

日本エアースポーツガン協会 03-3623-2665（平日9：00～17：00）
大会当日の連絡先 090-6567-4079

携行品

競技選手は以下の品を必ずご持参ください。

項 目	備 考
1. レギュレーションブック	必ずお持ちください
2. エントリー銃	部門規定を確認し、調整を確実に行ってください
3. ガンケース類	銃の会場までの運搬にご使用ください
4. BB弾	競技使用35発の他に試射用もお持ちください
5. ゴーグル類	必ずお持ちください
6. 黒ボールペン	書類等記入時に必要です
7. マスターバッジ	保持者は競技中必ず着用してください
8. JASG会員証	会員の方はお忘れなく

7. 競技進行

競技スケジュール		
時 間	進 行 内 容	試射レンジ優先使用時間
8:40 ↓	開 場 (8:40前には入場できません) ★オープンサイト部門エントリー受付開始	★優先時間厳守を お願いいたします。
9:00 ↓	第23回APSカップハンドガンクラス開会式 続いて	OAグループ優先使用 (8:40～9:25)
9:20 ↓	オープンサイト部門競技説明 (シルエット競技レンジにて)	OBグループ優先使用 (9:30～10:15)
9:40 ↓	●OAグループ競技開始	OCグループ優先使用 (10:20～11:05)
10:30 ↓	●OBグループ競技開始	一 時 閉 鎖
11:20 ↓	●OCグループ競技開始 ★フリーサイト部門エントリー受付開始	
11:50 ↓	オープンサイト部門全競技終了	FAグループ優先使用 (11:50～12:35)
12:10 ↓	オープンサイト部門表彰式 及び 抽選会 続いて	FBグループ優先使用 (12:40～13:25)
12:30 ↓	フリーサイト部門競技説明 (シルエット競技レンジにて)	
12:50 ↓	●FAグループ競技開始	以 降 閉 鎖
13:40 ↓	●FBグループ競技開始	
14:10 ↓	フリーサイト部門全競技終了	
14:30 ↓	ハンドガンクラス・グランドチャンピオン決定戦 (プレート競技レンジにて)	
15:00 ↓	フリーサイト部門表彰式 及び 抽選会 続いて 第23回APSカップハンドガンクラス閉会式 (シルエット競技レンジにて)	
15:40	第23回APSカップ 全プログラム終了	

※各開始時間は当日の状況により変更する場合があります。
当日の案内を随時お聞きください。

エントリー手続きから競技終了までの流れ

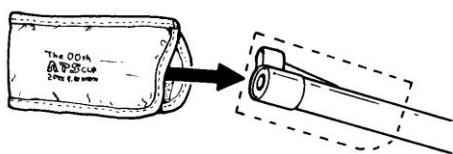
エントリー手続きはご自分の開始時間の30分前までに必ず終えてください。

当日は以下の順番でエントリー登録手続きから、進行してください。

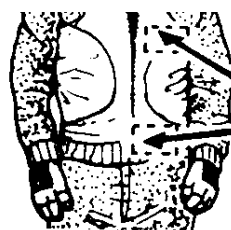
- 1 選手は受付にて、レギュレーションブックをご提示ください。
JASGユーザー会員の方は、会員証もあわせてご提示ください。



- 2 受付スタッフから、①ネームプレート、②パーソナルデータ、③ブルズアイターゲットセット（プレート2枚、ターゲット2枚）、④銃口カバー（第23回記念品）の4点を受け取り、ただちにネームプレートを左胸に、銃口カバーを銃口に付けてください。



同機能のマイ銃口カバーをご用意頂いても構いません。



必ずジャッジから見える位置に
（※ウエスト部也可）



- 3 パーソナルデータに自分のグループ、ナンバー、氏名（カタカナで）、使用レンジをこのレギュレーションブックの表紙の記載を参考に記入します。さらに銃の仕様も記入します。パーソナルデータは各選手にて管理をお願いします。



- 4 ハンドガンクラスの銃検査は、グループ毎に、グループ優先時間内に行います。銃本体やマガジン内のBB弾を空にした上で、使用銃の仕様および弾速のチェックを必ず受けてください。チェック後、係員が、パーソナルデータ上に検印の上、チェックシールをお渡しします。チェックシールは必ず受領し、シールを銃表面に貼ってください。検印やチェックシールを受けていないと、出場できません。チェック後、競技前に銃を変更する場合、再度チェックを受けてください。



- 5 ブルズアイターゲットを2組共セットします。ターゲットシールの裏紙全面をはがし、プレートに貼付けます。空気などで隙間ができないよう注意してください。希望される選手はサイティング用の青丸か黒丸シールを真中にお貼りください。次にそれぞれのターゲットに自分のグループナンバー、射撃順番（1、2で記入）、氏名（カタカナで）を記入します。このターゲットは競技まで表面にキズが付かないように、ターゲット面を合わせて大切に管理してください。パーソナルデータ票にプレート競技の射撃指定方向（21ページ参照）も記入してください。



**ブルズアイターゲット
セット方法**

ターゲット裏紙、
全てはがす

青丸か
黒丸シール
(任意)

1 枚目、2 枚目を必ず記入

グループナンバー

名 前
(必ずカタカナで)

パーソナルデータ票上

プレート競技
射撃方向指定

(記入例)

NO.FA-11 (2) - X

NAME ヤマト ヒサシ **MARUZEN**

NO.FA-11 (1) - X

NAME ヤマト ヒサシ **MARUZEN**

自分の射撃方向に ○

- 6 自分のグループの集合時間（競技開始10分前）、競技開始時間、競技順番、使用レンジを確認した後、試射レンジにてウォーミングアップを行ってください。試射レンジの使用はご自分のグループ優先時間内（11ページ参照）にお願いします。試射は10発までとします。試射目的外の試射レンジの占有は止めてください。
※試射される前に、必ず使用銃のチェックを受けてください。



- 7 競技開始10分前に競技選手、待機選手共に最初の競技レンジ前に集合。そして、競技選手は装弾までの射撃準備を行い、セフティをかける等、銃の最も安全な状態にしてください。



- 8 （前グループの競技終了後）競技者のグループナンバーがコールされます。レンジに入り、ジャッジの指示に従ってください。待機者は装弾までの射撃準備をスタート。



- 9 その後、競技を終えたら速やかに次の競技レンジ、次々の競技レンジに移ってください。3競技終わるまで競技エリアから絶対に離れないでください。後、終了後の手続き（ネームバッジ返却等）を行ってください。

※以上の流れで不明な点がございましたら、お気軽にスタッフにお聞きください。

試射レンジの使用制限について

使用銃、各種サイトの調整用に試射レンジを設けています。試射レンジ以外での無許可発射は厳禁です。また、試射レンジ内でも必ずゴーグル類を着用してください。なお、試射レンジの使用時間はグループ別に優先時間を設けています。優先時間以外の試射はスタッフに申告してから行ってください。

※競技終了後、銃にBB弾が残っている恐れがあり、確認のため試射レンジにて発射する場合も、ジャッジに必ず申告し指示に従ってください。許可無く移動して、発射しないでください。

競技ローテーション

1グループは最大42名の約50分でグループ全員が競技を終えるよう組んでいます。まず、各グループ共、前半(1～21番)の競技選手が指定レンジに入り、後半(22～42番)の待機選手は指定レンジ後ろの待機者イスに座ります。**待機中に、装弾までの射撃準備を行ってください。**その際、銃の安全には細心の注意を払ってください。また、待機中は、やむをえない事情がない限り、待機者イスから離れないでください。離れる場合はジャッジに必ず申告してください。

1～21番の競技選手が競技を終えると、22～42番の待機選手がレンジに入り競技を開始します。1～21番の競技選手はそれぞれの次競技レンジに移動し、指定レンジ後ろの待機者イスで待ちながら、装弾までの射撃準備を行ってください。これを繰り返し、1グループ(6ターン)は約50分で終了します。裏表紙のターン表(32ページ)をご参照の上、当日混乱することなく進行できるよう、ご自分の番号と競技順序を確実に把握しておいてください。もし分からなくなったら、すぐに**案内スタッフ**にお聞きください。

表紙記載の開始時間10分前には指定レンジ前に集合してください。**競技時間に遅れた場合は、棄権扱いになり出場できません。**1競技(待機)終えたら、3競技終えるまで競技エリアから絶対に離れないでください。

レンジ指定について

ブルズアイ、プレート、シルエットの各競技共、1～7番の7レンジがあります。各選手は決められた1つのレンジ(レギュレーションブック表紙記載の開始レンジナンバー)で3競技全てを行います。待機する時も必ずこのレンジの後ろです。

同点者の順位決定

同一得点の選手が2名以上存在する場合の順位は、次の方式によって決めます。

1. まず、ブルズアイ競技のXの数の多い方を高順位とします。
2. 次に、ブルズアイ競技の点数を比較して、点数の高い方を高順位とします。
3. 上記の点数が同じなら、プレート競技の点数が高い方を高順位とします。
4. 上記の点数が同じなら、同順位とします。

競技終了後の手続き

- 1 全競技が終了した選手は、競技選手や待機選手の妨げにならないよう速やかに所持品をまとめ、競技エリアより退出してください。

自分の属するグループの終了20分後ぐらいに、データとして打ち込まれたグループ成績一覧表を掲示いたしますので、ご自分のパーソナルデータの得点と間違いないかを御確認ください。

★協賛メーカー賞抽選用にネームプレートを、受付の抽選ボックスへ安全ピンを必ず閉じてご返却ください。返却されないと抽選権は失われます。

2 マスターバッジ申請資格のある選手

★各バッジは、表彰式の終了後から、受付・授与いたします。

マスターバッジおよびアドバンスバッジの申請のできる選手（申請資格は4ページ参照）は、受け渡し窓口にて、＜マスターバッジ申請書＞に、グループ、ナンバー、氏名、得点、該当バッジ名を記入し、このレギュレーションブックと合わせて提出してください。照合後、その場でバッジを授与いたします。

※バッジ授与に関して：両バッジ共、当日該当者直接申請を原則とします。後日の郵送等は一切行いません。ご注意ください。ただし、マスターバッジは次回であってもAP Sカップ中なら申請できます。アドバンスバッジは参加カップの当日しか申請できません。

総合ランキング表

第23回の総合ランキング表は、J A S Gホームページ(www.airsportsgun.com)に掲載されます。過去の大会のランキング表も、上記ホームページに掲載されております。また、公式記録となりますので、後日の修正は行いません。

総合ランキング表の送付を希望される方は、受付にある、総合ランキング表申込書に所定の事項をご記入の上、料金（一部門のみ各回300円、両部門セット各回500円）を添えて提出してください（後日発送します）。過去の大会のランキング表も実費で配布いたします。

8. 競技説明（ブルズアイ・プレート・シルエット）

3 競技共通注意事項

1. ジャッジへの質問について

ジャッジへの質問は、いつでも可能です。「スタンバイ」コールの直前までは、ジャッジへ質問するために競技を止めるようジャッジに申告できます。「スタンバイ」コール以後は競技を止めることは一切できず、質問およびジャッジの回答も競技時間に含まれます。なお、ジャッジからの警告・指示も競技時間に含まれます。

2. 銃保持について

射撃時、銃に触れることができるのは、ワンハンド／ツーハンド共に、手首より前部だけです。手首より前なら銃固定方法は自由です。手首より後部の身体、及び床等に銃が触れることは認めません。また、銃固定具を手首より後の身体に付けたり、身体の固定具である枕・カバン等を使用することを禁止します。さらに銃を保持している腕が身体、床等に触れることも認めません。

ただし、シルエットのプローン姿勢のみ、銃が床等に付かなければ身体の何処でどのように保持しても構いません。しかし、たとえこの場合であっても、銃固定具を手首より後の身体に付けたり、身体の固定具である枕・カバン等を使用することはできません。

3. スタンバイ姿勢について

腕及び銃口を下方45度以下に下げるスタンバイ姿勢（下げきった楽な姿勢でもかまいません）を3競技共とります。特に、プレート競技では、この姿勢を15回とりますので、銃口を真下にしても弾こぼれが起きないように当日の銃の調整とBB弾の選択にはご注意ください。競技説明イラストを参考にあらかじめスタンバイ姿勢を試して、銃口からBB弾がこぼれないことを充分確認してください。競技中BB弾がこぼれたのに気付かず、空撃ちした場合でも、必ず1発とカウントします。弾こぼれが発生したときは、ジャッジに必ず申告して指示に従ってください。

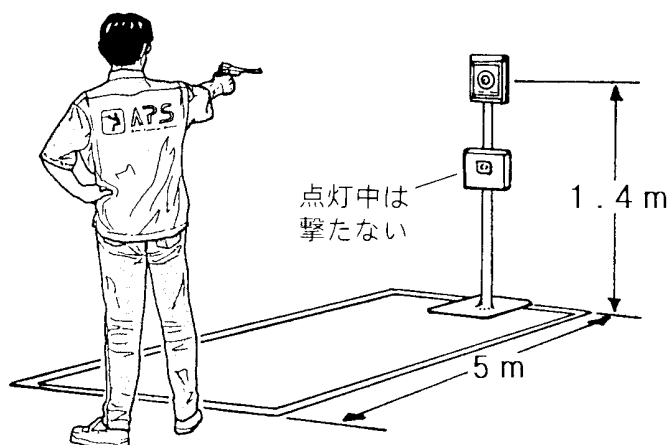
ブルズアイ競技

＜精密射撃＞という競技の中で、基本となるこの競技は最も＜集中力＞が要求されます。3競技の中での得点配分は最も高く、ここでの結果が総合点を左右すると言っても過言ではありません。時間にも余裕があり、自分のペースを守り、微動する腕を押さえ付け集中力を持続させることが高得点を得るキーポイントとなるでしょう。

※ターゲットの10点圏に、所定の青丸シールまたは黒丸シールを貼ることができます。

これらのシールは、各選手の任意でお貼りください。

基本ルール	
得点配分	100点（50点×2）
距離	5m
競技時間	2分間×2ステージ
射撃姿勢	スタンディング/ワンハンド
使用弾数	5発×2
注 意	ターゲット面に着弾時のみ、下部発光ダイオードが2秒間点灯し面的中を知らせます。 <u>同着弾判別補助のため点灯中は撃たない</u> でください。

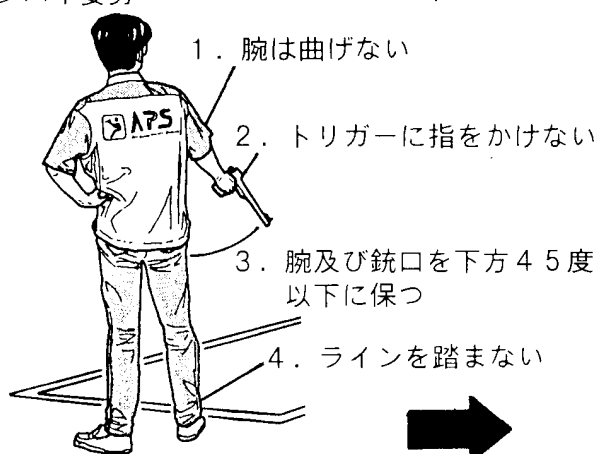


競技手順とファール例及びペナルティー		
競技動作	ファール例	ペナルティー
1 待機中に装弾までの射撃準備を終え、自分のグループナンバーがコールされたら、競技者は <u>セットの終わったターゲット2枚とパーソナルデータと射撃に必要なアイテム</u> を持ち指定レンジに入る。この時、銃は最も安全な状態に保つ。	・トリガーに指をかける ・銃口が下方かターゲット方向以外 ・セフティをかけてない ・ゴーグル類をしていない ・ラインオーバー	・合わせて1回目は注意、2回目以降は各ー5点

	競 技 動 作	フ ァ ール 例	ペ ナ ル テ ィ ー
2	担当のジャッジにターゲット2枚とパーソナルデータを渡した後、指示に従い、最終射撃準備（コッキング等）を行う。この間、ジャッジが1 的目の準備を行う。	・ 1 に準じる ・ 空撃ちをした ・ 「スタンバイ」コール前、中レンジ内暴発	・ 1 に準じる ・ -5 点 ・ 射撃後の最高点をマイナスにして、さらに競技弾数を1 発減らす
3	射撃準備を終えたらセフティをかけ、ジャッジの指示に従ってサイティング練習を1 回だけ行う。この時、トリガーに指をかけない。	・ 2 に準じる	・ 2 に準じる
4	ジャッジの指示に従い、セフティをはずし、楽な姿勢で待機。 <u>「スタンバイ」のコールでスタンバイ姿勢（イラスト参照）をとり、次の合図を待つ。</u>	・ セフティを除き、2 に準じる ・ スタンバイ姿勢違反	・ 2 に準じる ・ 1 に準じる

基本的なスタンバイ姿勢と射撃姿勢

スタンバイ姿勢



射撃姿勢 1. ひじを身体に付けない



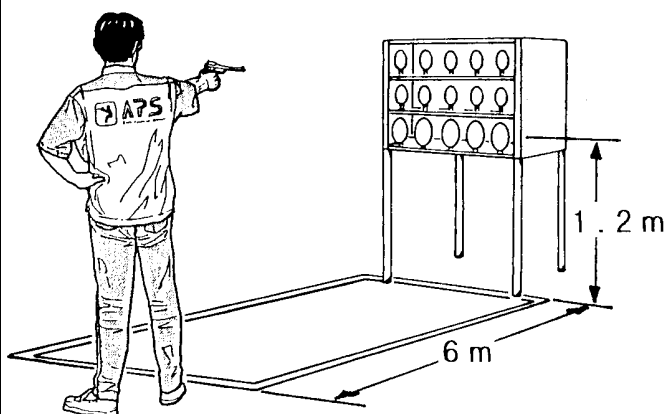
	競 技 動 作	フ ァ ー ル 例	ペ ナ ル テ ィ ー
5	「レディ・ゴー」のコールで射撃姿勢に移り、競技を開始。 射撃時間は2分、弾数は5発。 競技者は、残り時間、残り弾数に関する質問をジャッジにいつでもしても良い。 また、メインジャッジより、射撃時間の経過に伴い「1分経過」および「1分30秒経過」とコールがある。	・「スタンバイ」コール後レンジ内暴発 ・5発をこえる射撃をする（ダブルチャージは2発、空撃ちも1発とする）	・射撃後の最高点をマイナスにして、暴発弾も1発と数える ・射撃後の最高点の2倍を一、こえた数かける（こえた弾も得点）
6	5発射撃後、銃を最も安全な状態にした上で、楽な姿勢で「競技終了」のコールを待つ。コール後、ジャッジが第1的回収、第2的準備の間に次の射撃準備を整える。回収した第1的について説明を受ける。 （命中弾数、ファールの有無等）	・タイムオーバー（「競技終了」コール後の発射） ・2に準じる	・最高点をマイナス ・2に準じる
7	第2的に対して、4～5の動作を行う。	・4～5に準じる	・4～5に準じる
8	5発射撃後、銃を最も安全な状態にした上で、楽な姿勢で「競技終了」のコールを待つ。コール後、ジャッジが第2的を回収している間に速やかに退出準備を整える。回収した第2的について説明を受ける。 （命中弾数、ファールの有無等）	・6に準じる	・6に準じる
9	各自レンジから退出し、レンジ横の採点所前に待機する。名前を呼ばれた選手は採点係の前に進み得点算出の確認を行う。算出された点数に採点係は検印を押し、選手はその採点に同意したうえで検印にかかるようにサインを行う。パーソナルデータを受け取り、次競技レンジ等に移動する。	確認後、(検) マークにかかるようにサインしてください。 ※ブルズアイ競技の採点基準	

プレート競技

規則正しく並んだ15枚のプレートターゲットに対し、俊敏な集中力が要求される競技です。15回にも及ぶわずか3秒以内の射撃、そしてギャラリーから受けるプレッシャーに耐えうる〈持続力〉が最も必要とされます。正確な、そして速やかな射撃動作が高得点を得るキーポイントとなるでしょう。

基本ルール

得点配分	60点（4点×15）
距離	6m
競技時間	3秒間×15回
射撃姿勢	スタンディング/ワンハンド
使用弾数	15発
注 意	この競技は銃口（腕）を下方45度以下にするスタンバイ姿勢を15回とります。他競技と比べて弾こぼれは競技進行の妨げ、更にファールの原因となってしまいます。 銃調整、BB弾選択に充分ご注意ください。射撃方向指定記入もデータ票に忘れずに。

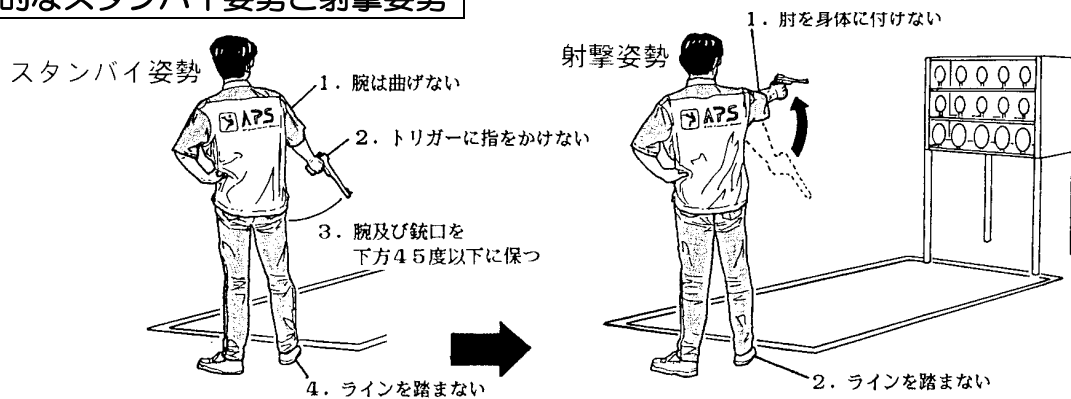


競技手順とファール例及びペナルティー

競技動作	ファール例	ペナルティー
1 待機中に装弾までの射撃準備を終え、自分のグループナンバーがコールされたら、競技者は射撃方向指定済みのパーソナルデータと射撃に必要なアイテムを持ち指定レンジに入る。この時銃は最も安全な状態に保つ。	・トリガーに指をかける ・銃口が下方かターゲット方向以外 ・セフティをかけてない ・ゴーグル類をしていない ・ラインオーバー	・合わせて1回目は注意、2回目以降は各ー5点
2 担当のジャッジにパーソナルデータを渡した後、ジャッジの指示に従い、最終射撃準備（コッキング等）を行う。続いてセフティをかけ、最初のプレートのみに対して、サイティングを1回だけ行う。この時トリガーには指をかけない。	・1に準じる ・空撃ちをした ・「スタンバイ」コール前、中レンジ内暴発	・1に準じる ・ー5点 ・ー8点で、その回休み

	競 技 動 作	フ ァ ー ル 例	ペ ナ ル テ ィ ー
3	ジャッジの指示に従いセフティはずして、銃口を下方に向けた楽な姿勢で待機する。続いてメインジャッジの「スタンバイ」コールでスタンバイ姿勢（イラスト参照）をとる。特に、トリガーに指をかけない、腕の角度下方45度以下を厳守。すぐに「レディ→ビー（ブザー音）」とコールがあるのでブザー音と同時にスタンバイ姿勢から射撃姿勢へと移る。ブザー音の前に45度以上腕を上げるとフライングとなる。1回の射撃時間は3秒、そして1発のみ。下段の事前に申告した方向から撃つこと。3秒後の終了ブザー音と共にプレートはロックされる。ロックの最中に命中しても倒れる前にプレートがロックされた場合は得点にならない。またBB弾がプレートに接触しても、プレートが確実に倒れなければ得点にはならない。明らかにプレートターゲット以外の所に弾丸が当たり倒れた場合も得点にはならない。	- セフティを除き、2に準じる - スタンバイ姿勢違反 - フライング 「スタンバイ」コール後レンジ内暴発 - ミスショット（順番を間違え、撃つべきプレートより先のプレートを倒した時、ただしその4点は得点とする） 3秒間に2発以上発射して指定プレートを倒す（複数ショット：ダブルチャージは2発、空撃ちは1発とする）	2に準じる 1に準じる 1回目は注意、2回目以降は各－4点 －8点 1回毎に－7点（後飛ばしたプレートに戻る）
			1～14プレートの時 ① 1発目で指定プレートを倒した後に2発以上発射、他プレートにはヒットせず →－4点、ただしヒットの4点は加算、後該当回数休み ② 1発目を外し2発以上で指定プレートを倒す →－4点、後該当回数休み ※休み足りない場合は－4点 ラストプレートの時 ③ 1発目で倒した後の2発以上 →－8点、ただしヒットの4点は加算、3発以上は×－4点 ④ 1発目を外し2発以上で倒す →－8点のみ、3発以降×－4 ★上記はペナルティー例状況により当日算出
4	射撃後、次の射撃準備を整え、準備完了をジャッジに伝える。また、次に狙うプレートの確認を随時ジャッジにしても良い。次射撃までのインターバルは基本的に15秒。装弾等で更に必要なときはジャッジに申し出る。プレートは下段、中段、上段の順番で必ず指定方向から倒していくこと。楽な姿勢で待機し、「スタンバイ」コールの後、4の動作を14回繰り返す。	3に準じる	3に準じる

基本的なスタンバイ姿勢と射撃姿勢

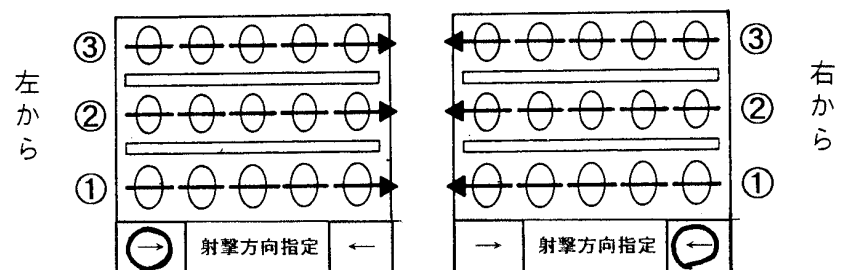


競技動作	ファール例	ペナルティー
5 競技終了後、銃を最も安全な状態にした上で、ジャッジの得点算出を確認する。ジャッジは集計用紙に得点を記入し、検印を押す。競技者はその採点に同意したうえでサインを行う。パーソナルデータを受け取り、速やかに次競技レンジ等に移動する。	・ 1 に準じる	・ 1 に準じる

指定方向について

必ず 下段5枚→中段5枚→上段5枚 の順番で射撃を行います。各段とも事前にパーソナルデータに指定した方向から射撃します。例えば、「右から」と指定した競技者は、まず下段の5枚を右から、中段の5枚も右から、そして上段の5枚も右から射撃します。

もし、指定方向と逆のプレートを倒してしまうと大きなペナルティーとなってしまいますので、ご注意ください。迷ったら即ジャッジにお聞きください。



制限弾数及びイレギュラーショットについて

1プレート：3秒：1発を厳守。1プレートに対して発射できる弾数は、1発のみです。外した場合もそのプレートに対して打ち直しは一切できません。必ず次プレートに進んでください。プレートにBB弾が接触しても、プレートが確実に倒れなければ、基本的には得点にはなりません。プレートがいったん倒れた後、反動でそのプレートが置き上がった場合等は、担当ジャッジの判断で得点とします。

デッドショット：順番の過ぎたプレート（デッドプレート）は間違っても倒しても、得点にも、ペナルティーにもなりません（先のプレートを間違っても倒すと+4点-7点=-3点となります）。

ラッキーショット：選手自身の跳弾等により先のプレートに直接弾がヒットして倒れた場合は、得点となりペナルティーもとられません。倒れたプレートの回は休憩となります。

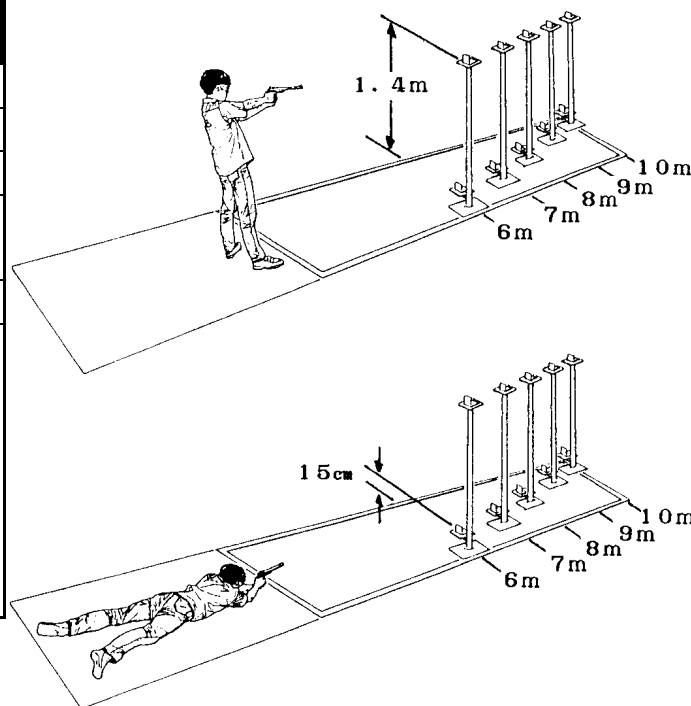
シルエット競技

この競技は6、7、8、9、10mの異なる距離にあるわずか3×3cmのアルミターゲットに向かい、自己の射撃技術の総力を注いで挑む競技です。3競技の中で最も弾道の変化が大きく、その読みが必要とされます。近距離で得点を重ねるか、遠距離の高得点を狙うか、＜決断力＞がキーポイントとなるでしょう。

基本ルール

得点配分	40点（20点×2）
距離	6、7、8、9、10m
競技時間	2分間×2ステージ
射撃姿勢	スタンディング／ツーハンド プローン（伏射）／ツーハンド
使用弾数	5発×2
注 意	プローン射撃時のみ、銃を床面に付けなければ、身体はどこを使って保持しても構いません。ただし、銃の固定具を体に着けたり、体の固定具である枕・カバン等の使用は禁止とします。

※この競技は得点配分こそ少なく設定されていますが、満射難易度は最も高く、ここを高得点でクリアすることが上位／高得点へと繋がります。

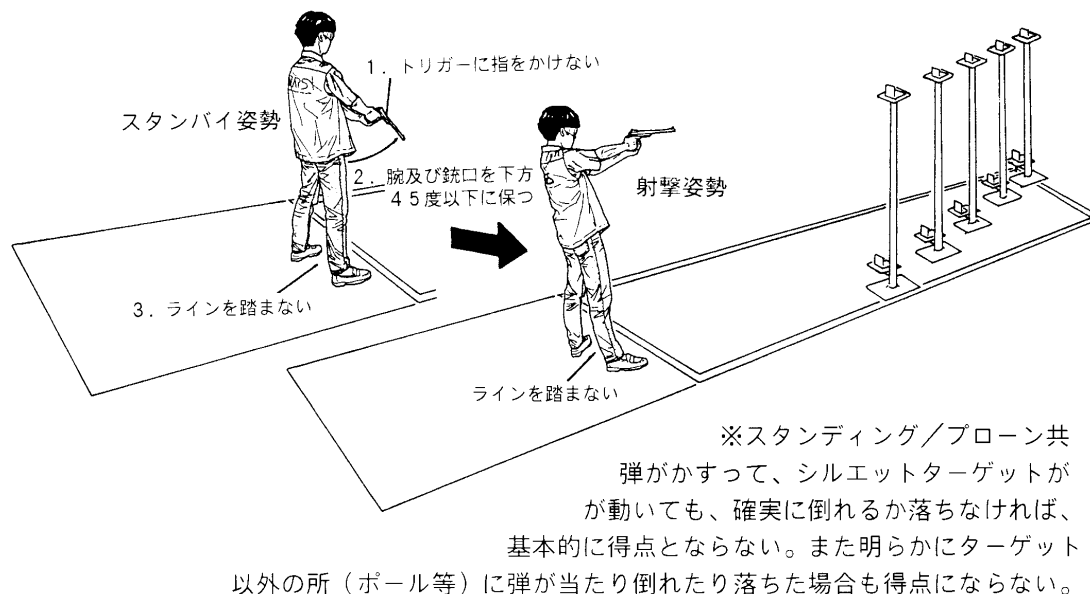


競技手順とファール例及びペナルティー

競技動作	ファール例	ペナルティー
1 スタンディング 待機中に装弾までの射撃準備を終え、自分のグループナンバーがコールされたら競技者はパーソナルデータと競技に必要なアイテムを持ち、指定レンジに入る。この時、銃は最も安全な状態に保つ。	- トリガーに指をかける - 銃口が下方かターゲット方向以外 - セフティをかけてない - ゴーグル類をしていない - ラインオーバー	合わせて1回目は注意、2回目以降は各－5点
2 担当ジャッジにパーソナルデータを渡した後、ジャッジの指示に従い、最終射撃準備（コッキング等）を行う。続いてセフティをかけ、任意のシルエット1個のみに対して、サイティングを1回だけ行う。この時、トリガーに指をかけない。	1に準じる - 空撃ちをした 「スタンバイ」コール前、中レンジ内暴発	1に準じる －5点 - 射撃後の最高点をマイナスにして、更に競技弾数を1発減らす

	競 技 動 作	フ ァ ー ル 例	ペ ナ ル テ ィ ー
3	ジャッジの指示に従い、セフティをはずし楽な姿勢で待機。 「スタンバイ」のコールでスタンバイ姿勢（イラスト参照）をとり、次の合図を待つ。	- セフティを除き、2に準じる - スタンバイ姿勢違反	2に準じる 1に準じる
4	「レディ・ゴー」のコールで射撃姿勢に移り、競技を開始。 制限時間は2分、弾数は5発を厳守すれば、上段のどのターゲットから撃っても、1つのターゲットに何発撃っても自由。 競技者は、残り時間、残り弾数に関する質問をジャッジにいつでもして良い。また、メインジャッジより、射撃時間の経過に伴い「1分経過」および「1分30秒経過」とコールがある。	「スタンバイ」コール後レンジ内暴発 5発をこえる射撃をする（ダブルチャージは2発、空撃ちも1発とする また5発をこえたヒットも得点とする）	- 射撃後の最高点をマイナスにして、暴発弾も1発と数える - 射撃後の最高点の2倍をマイナスとする（5発をこえた発射数をかける） 例）7発発射した時 $(7-5) \times 2 \times \text{最高点}$
5	5発射撃後、銃を最も安全な状態にした上で、楽な姿勢で「競技終了」のコールを待つ。コール後、ジャッジからスタンディング結果の説明（命中弾数、ファールの有無）を受け、次のプローンの射撃準備を整える。	- タイムオーバー（「競技終了」コール後の発射） 2に準じる	- 最高点をマイナス 2に準じる

基本的なスタンバイ姿勢と射撃姿勢（25ページの射撃姿勢もよくお読みください。）



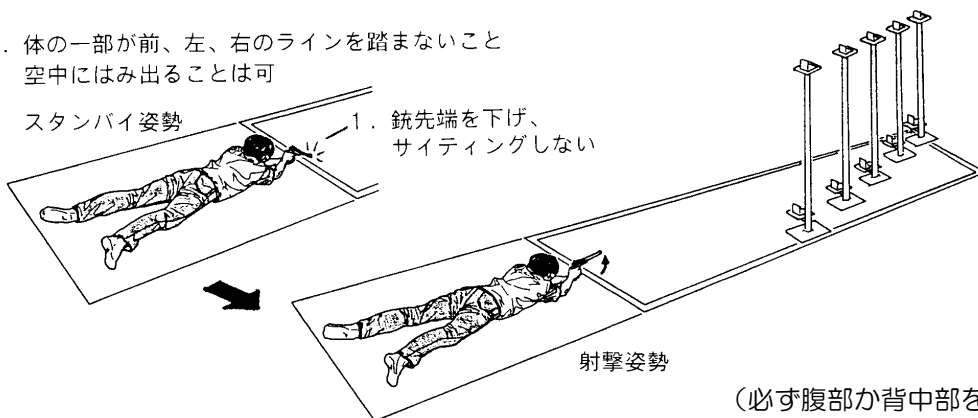
判別できない場合は、ジャッジの判断により基本的に得点とします。状況により再セッティングを行います。その際は、メインジャッジコールでシルエット全レンジを中断して対応の上、再スタートします。

	競技動作	ファール例	ペナルティー
6	プローン（伏身射） ジャッジの指示に従い、射撃準備（コッキング等）を終え、プローン姿勢（身体の一部が前、左右のラインを踏まないこと。但し後ろのラインはOK。また全空中にはみ出る事は可）をとり、セフティをかけたままスタンディング同様、サイティング練習を1回だけ行う。セフティをはずして楽な姿勢で待機。銃口を床に着けるか銃本体を横にし、 <u>まだサイティングしない。</u> <u>「スタンバイ」のコールでスタンバイ姿勢（イラスト参照）になり、次の合図を待つ。</u>	・セフティを除き、2に準じる ・スタンバイ姿勢違反（サイティング）	・2に準じる ・1に準じる
7	<u>「レディ・ゴー」のコールで射撃姿勢に移り、競技を開始。制限時間は2分、弾数は5発を厳守すれば、下段のどのターゲットから撃っても、1つのターゲットに何発撃っても競技者の自由。</u> 競技者は、残り時間、残弾数に関する質問をジャッジにいつでもして良い。また、メインジャッジより、射撃時間の経過に伴い「1分経過」および「1分30秒経過」とコールがある。	・「スタンバイ」コール後レンジ内暴発 ・5発をこえる射撃をする（ダブルチャージは2発、空撃ちも1発とするまた、5発をこえたヒットも得点とする）	・射撃後の最高点をマイナスにして、暴発弾も1発と数える ・射撃後の最高点の2倍をマイナスとする（5発をこえた発射数をかける） 例）8発発射の時 $(8 - 5) \times 2 \times \text{最高点}$

基本的なスタンバイ姿勢と射撃姿勢（25ページの射撃姿勢もよくお読みください。）

2. 体の一部が前、左、右のラインを踏まないこと
 空中にはみ出ることは可

スタンバイ姿勢



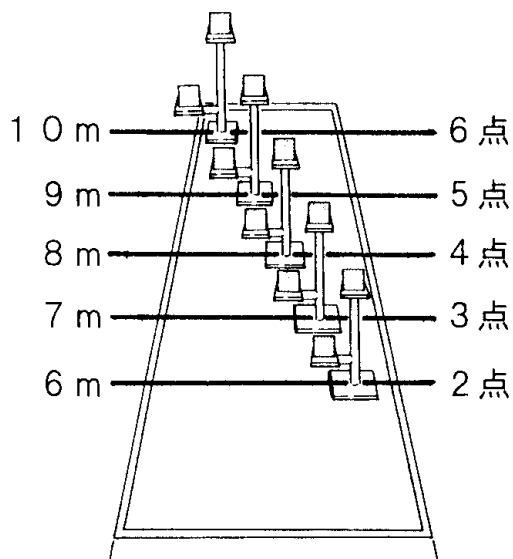
（必ず腹部か背中部を床面に付けること。）

プローン射撃のコッキングの際、銃の先端が他のレンジや後方など、人のいる方向に向くことのないよう、十分注意すること。

	競技動作	ファール例	ペナルティー
8	競技終了後、銃を最も安全な状態にした上で、ジャッジの得点算出の確認を行う。ジャッジによる集計用紙の得点記入・検印後、 <u>競技者はその採点に同意した上でサインする。パーソナルデータを受け取り、速やかに次競技レンジ等に移動する。</u>	・ 1 に準じる	・ 1 に準じる

距離と得点配分

各ターゲットの得点はイラストの通りです。
 1 ステージ、5 発で 20 点満点です。
 スタンディングとプローンの 2 ステージ行います。競技はスタンディングから行います。
 スタンディングは上段、プローンは下段のターゲットのみを狙うこと。上下のターゲットを間違えて倒しても得点にならず、無効です。
 両姿勢とも 2 分以内、5 発であれば、どのターゲットから狙っても、一つに何発撃っても構いません。 充分計算して狙ってください。

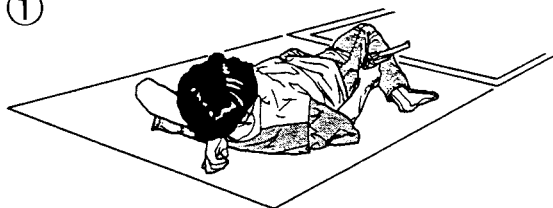


ラッキーショット：選手自身の時間内発射の跳弾等によるターゲットへの直接ヒットは得点とします。しかし、他競技選手の発射したBB弾が関与したヒットは得点としません。 ※状況により再セッティングを行います。

射撃姿勢

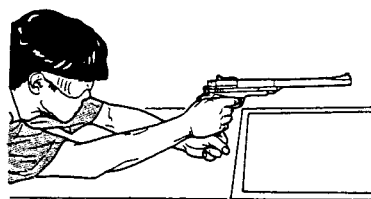
- スタンディング・プローン姿勢とも射撃スタイルは自由ですが、それぞれの保持規定を守り、ジャッジの注意を受けた時はその指示にしたがってください。また、プローン時クリードマンスタイル（イラスト①）等も認めますが、必ず腹部か背中部を床面に付けること。
- 身体の一部が前、左右のラインを踏まないようにしてください。後ろのラインからはみ出ること、及びすべてのラインから空中にはみ出ことはOKとします。
- プローン射撃時には、一部でも銃を床に着けることはできません。ただし、こぶし等をスタンド（イラスト②）等として利用することは問題ありません。銃の固定具を体に付けることや、体の固定具である枕、カバンを使用することは禁止します。

①



体の一部が前、左、右のラインを踏まないこと
 空中にはみ出ことは可

②



スタンド類の使用やグリップ低部を床面に付けることは不可、こぶし等身体の一部をスタンドとして使うことは可

9. APS公式競技会について

精密射撃の技術向上や安全啓発を目的として、APS公式競技会が設けられています。公式競技会には、JASGが主催する**公式記録会**と、協力企業や協力店舗が主催する**公式練習会**とがあります。こうしたJASGの主催・支援によるAPS公式競技会や定例会等について、今第23期においては、延べ344名の選手に参加していただきました。

公式記録会や公式練習会は、前身の公式店舗練習会も含め、開始以来21年間、開催回数延べ136回を数え、延べ5805名の選手に参加していただいております。

第23期 APS公式競技会スケジュール

開催日	競技会名	開催場所	地区
9/30	APS大阪公式記録会（ハンドガン・ライフル）	大阪府立体育会館	大阪
10/7	APS公式記録会（ハンドガン）	すみだ産業会館	東京
2/23	APS公式記録会（ライフル）	すみだ産業会館	東京
3/10	APS京都公式練習会（ハンドガン）	國友銃砲火薬店	京都
4/21	APSケイ・ホビー公式練習会（ハンドガン）	BLAM!!	埼玉
4/27	APS公式記録会（ライフル）	すみだ産業会館	東京
5/12	APS蔵前工房舎公式練習会（ライフル）	すみだ産業会館	東京
6/16	APSフロンティア公式練習会（ハンドガン）	すみだ産業会館	東京
9/29(予)	APS公式記録会（開催クラスは未定）	大阪府立体育会館	大阪
10/27(予)	APS練習会（開催クラス等詳細は未定）	すみだ産業会館	東京
11/17(予)	APS練習会（開催クラス等詳細は未定）	すみだ産業会館	東京

APS公式競技会等の開催スケジュールについては、専門誌掲載の＜JASGからのお知らせ＞及び、JASG公式ホームページ（www.airsportsgun.com）をご覧ください。

10. ハンドガンクラス・グランドチャンピオン

JASGでは、ハンドガンクラス・ライフルクラスそれぞれ、公式競技会とAPSカップ本大会をリンクさせて今期の最優秀選手を選出し、「グランドチャンピオン」という名誉称号、賞状、トロフィーを授与します。グランドチャンピオンは、以降のAPSカップ本大会に無料で参加することができます。

出場者：次の4選手が出場します（※これらの選手が出場されない、もしくは重複している場合は各次点選手が出場します）。

第23期公式競技会 ハンドガンクラス・成績優秀者	オープンサイト部門 加藤和俊選手	194-3X (2/23公式記録会)
	フリーサイト部門 鈴木武治選手	190-7X (6/16フロンティア公式練習会)
第23回 APSカップ 東京本大会・成績優秀者	オープンサイト部門第1位	
	フリーサイト部門第1位	

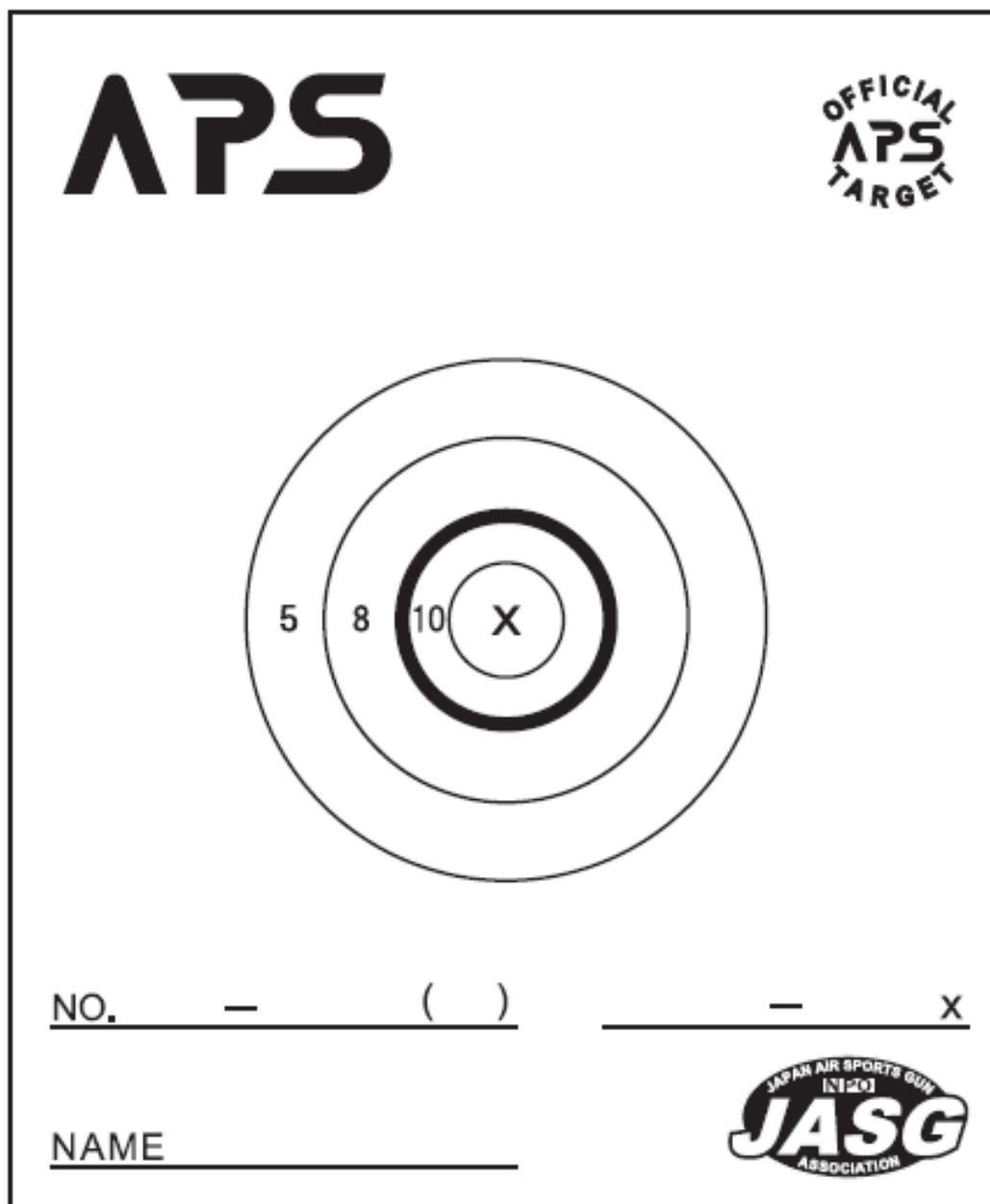
★公式競技会等特別ルール：オープン/フリー混合の場合、フリーから10点マイナスした上で一律に集計します。

競技形式：ハンドガンクラスの全競技終了後、4選手によるプレート競技を行います。大勢の参加者が見守る中、プレッシャーに耐えて勝ち抜いた選手が、栄えある**第19代ハンドガンクラス・グランドチャンピオン**です。

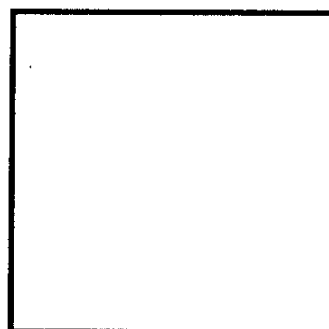
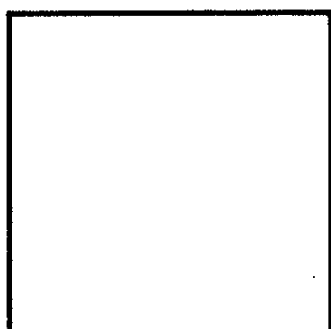
歴代グランドチャンピオン

1995 初代 手塚弘隆選手(オープン)	2001 7代 吉田英雄選手(オープン)	2007 13代 木本 俊選手(オープン)
1996 2代 白木直樹選手(フリー)	2002 8代 白木直樹選手(フリー)	2008 14代 小林 拓選手(フリー)
1997 3代 歳清勝晴選手(オープン)	2003 9代 藤田 浩選手(オープン)	2009 15代 細野 透選手(フリー)
1998 4代 栗本秀宣選手(フリー)	2004 10代 上村秀幸選手(フリー)	2010 16代 横田雅樹選手(フリー)
1999 5代 宮原正人選手(オープン)	2005 11代 吉田英雄選手(オープン)	2011 17代 高橋知宏選手(オープン)
2000 6代 高橋秀武選手(オープン)	2006 12代 千葉良男選手(フリー)	2012 18代 横田雅樹選手(フリー)

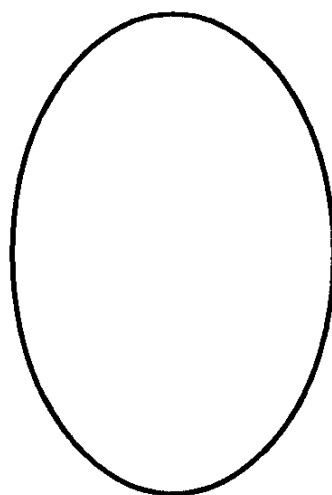
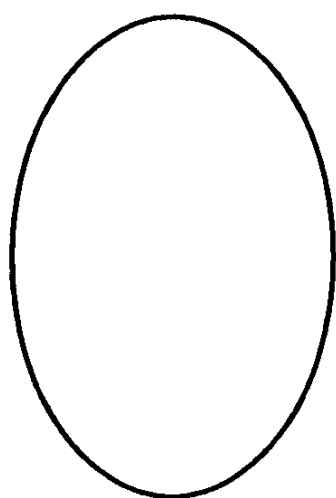
ハンドガンクラス 3競技リアルサイズターゲット ①



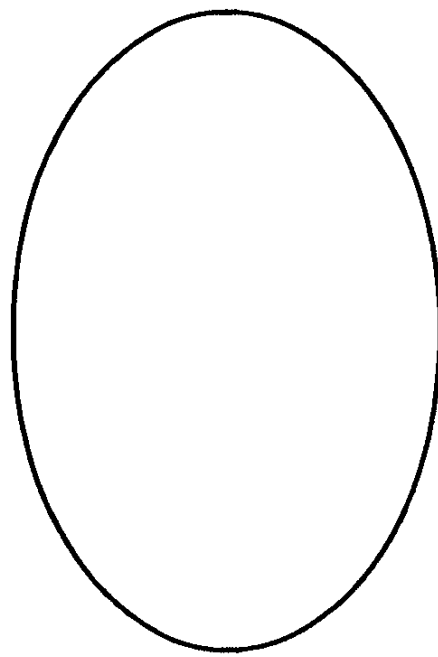
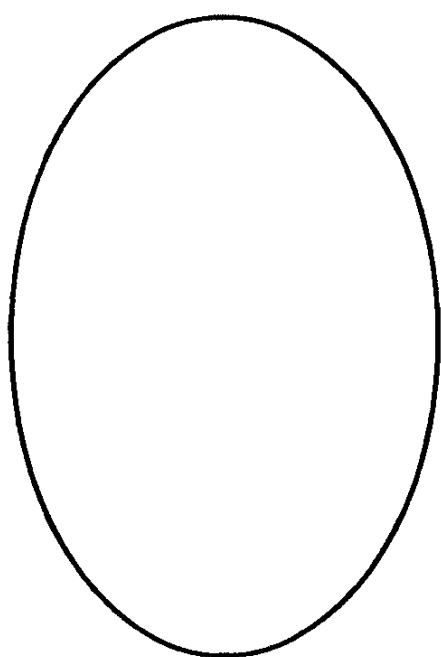
ブルズアイ ターゲット：サークル直径 50 → 35 → 22 → 11 mm
(5) (8) (10) (X)



シルエット ターゲット：30 × 30mm（正方形）



プレート ターゲット：小 30 × 45mm（楕円型）



プレート ターゲット：大 40 × 60mm（楕円型）

THE 23RD APS CUP HANDGUN CLASS PLAYER'S PERSONAL DATA

第23回APSカップ ハンドガンクラス 競技者パーソナルデータ

競技レンジ	グループナンバー	氏 名 (カタカナ)	使 用 銃	サ イ ト	検 印
	—		メーカー	数	
			モデル	仕様	

BULL'S-EYE GAME (ブルズアイ競技)

第1 ターゲット THE FIRST	第2 ターゲット THE SECOND	F O U L	1	2	3	
		トリガー、パレル、セフティ、ゴーグル、ライン、姿勢	W	-5	-5	P
		ドライファイア (時間外)	-5	-5	-5	—
1	1	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1 発	-H	-H	-H	T 1
2	2	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H	-H	-H	1 P — X
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H	-H	-H	— T 2 — X
3	3	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1 発	-H	-H	-H	T P —
4	4	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H	-H	-H	2 P —
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H	-H	-H	—
5	5	○ : 当 たり × : 外 れ B : 暴 発 ● : オーバーショット T : タイムオーバー ? : 不 明				— X 100-10X

PLATE GAME (プレート競技)

	F O U L	1	2	3	
○ ○ ○ ○ ○	トリガー、パレル、セフティ、ゴーグル、ライン、姿勢	W	-5	-5	× 4
○ ○ ○ ○ ○	ドライファイア (時間外)	-5	-5	-5	T S
○ ○ ○ ○ ○	フライング	W	-4	-4	
	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1 発	-8	-8	-8	T P —
	M ミスショット (先ので後戻る、これも加算)	-7	-7	-7	—
	F 複数ショット (数休憩) ラストは-8	-4	-4	-4	
→ 射撃方向指定 ←	○ : 当 たり × : 外 れ B : 暴 発 M : ミスショット F : 複数ショット F 4 : 加算複数				6 0

SILHOUETTE GAME (シルエット競技)

スタンディング (S) THE STANDING	プ ロ ン (P) THE PRONE	F O U L	1	2	3	
		トリガー、パレル、セフティ、ゴーグル、ライン、姿勢	W	-5	-5	
		ドライファイア (時間外)	-5	-5	-5	
1 10m 6	1 10m 6	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1 発	-H	-H	-H	P —
2 9m 5	2 9m 5	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H	-H	-H	S P —
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H	-H	-H	—
3 8m 4	3 8m 4	B 暴発 (サイティングしないで発射) 1 発	-H	-H	-H	P P —
4 7m 3	4 7m 3	● オーバーショット (オーバー加算)	-2H	-H	-H	T P —
		T タイムオーバー (オーバー加算)	-H	-H	-H	—
5 6m 2	5 6m 2	○ : 当 たり × : 外 れ B : 暴 発 ● : オーバーショット T : タイムオーバー				—
SS	PS					4 0

THE 23RD APS CUP HANDGUN CLASS

YOUR TOTAL SCORE ⇒

— X
200-10X

日本エアースポーツガン協会ユーザー会員について

会員の資格

入会金 1,000 円を納付された方は、ユーザー会員の会員資格を取得します。
※会員資格は、永年有効です（期限なし）。年会費は不要です。

会員には日本エアースポーツガン協会の会員証を発行します。



会員証は、APSカップ本大会や公式記録会などのイベントに参加される際には、必ず持参してください。また、ユーザー会員証は、大切にお取り扱いください。

会員の特典

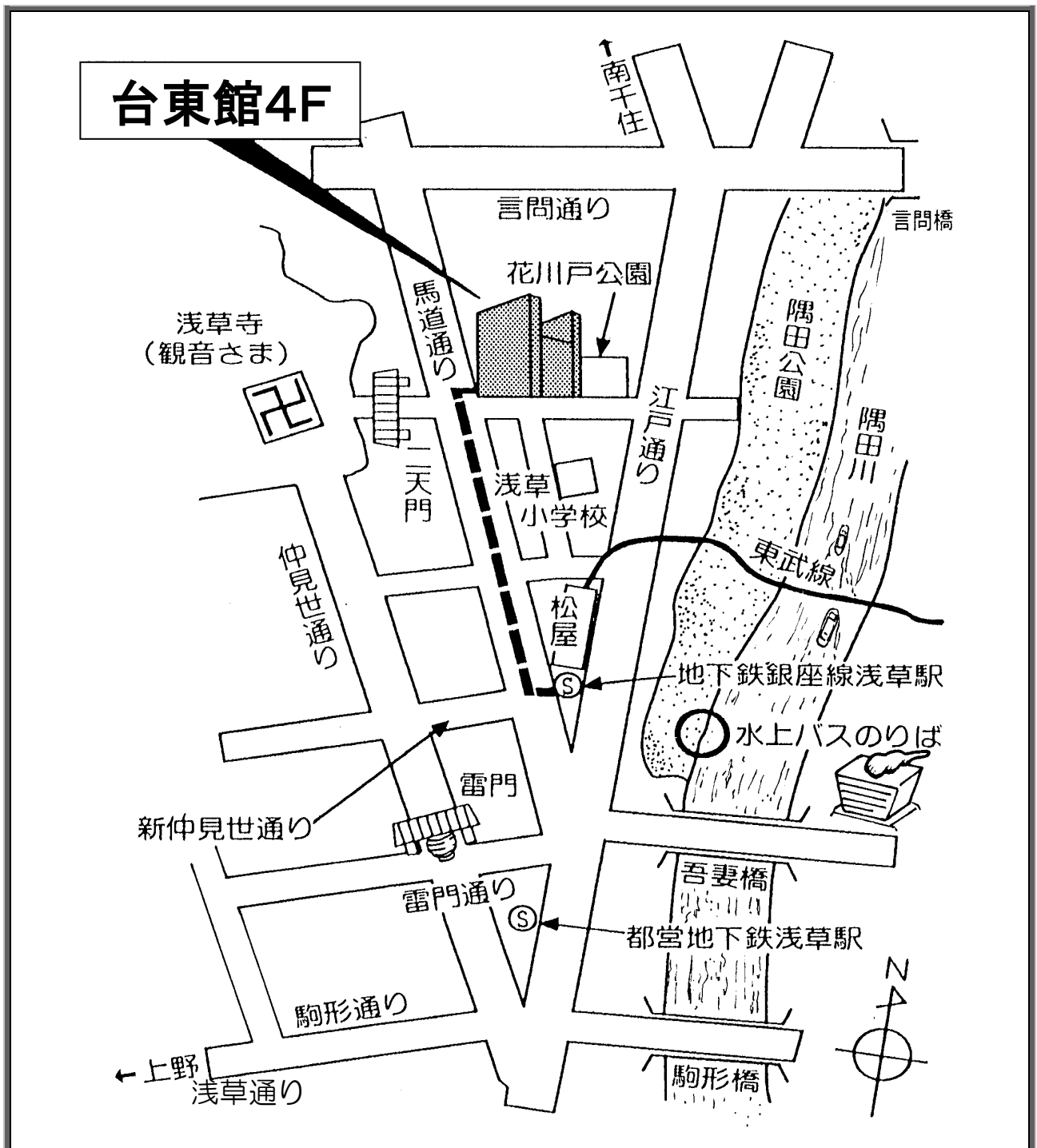
- ①会員は、JASG主催のAPSカップ本大会の参加料 1 クラス分が 4,000 円となります（通常は、5,000 円）。
18 歳未満のジュニア会員は、参加料 1 クラス分が 3,000 円となります。
- ②会員は、APS公式記録会やAPS公式練習会その他協会の主催・支援するイベントに参加される際、所定の割引料金で参加することができます。これらのイベントに参加される際は、必ず、ユーザー会員証を携帯の上、係員に呈示してください。

入会申し込み方法

- ①入会ご希望の方は、会員規約をお読みの上、入会申込書に必要事項をご記入の上、APSカップ当日、受付にご提出ください。
- ②その他ご質問は、特定非営利活動法人 日本エアースポーツガン協会までお問い合わせください。（03-3623-2665）

従来、APSカップに参加された会員の皆様には、ご希望があれば、該当クラスのランキング表を無料でお送りしておりましたが、第19回APSカップより、ランキング表はJASG公式ホームページ（www.airsportsgun.com）でごらんいただきますようお願いいたしております。

◆ 会 場 地 図



< 交通機関のご案内 >

- 東武線・地下鉄銀座線/浅草駅から370m 徒歩5分
- 都営地下鉄線/浅草駅から500m 徒歩8分
- 都バス(都 08) 日暮里駅前 ⇄ 錦糸町駅前
 (草 64) 浅草 雷門 ⇄ 池袋駅東口 } 二天門下車すぐ前

※台東館には駐車場はございませんので、お車での来館はご遠慮ください。

※APS カップ参加者の皆様は、会場まで銃を必ずカバンやケースに収納して、露出させずにご持参ください。

注 意：よりスムーズな進行及び待機時間有効利用のため、装弾までの射撃準備を待機中に行ってください。

ハンドガンクラス ターン表

ご自分のナンバーをチェックして競技順番をご確認ください。

		フルスライレンジ							フルートレンジ							シラエットレンジ							
競技レンジ→		1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	
第1 ターン	競技		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
	待機		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
第2 ターン	競技		22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
	待機		15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
第3 ターン	競技		15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	待機		36	37	38	39	40	41	42	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第4 ターン	競技		36	37	38	39	40	41	42	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
	待機		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7
第5 ターン	競技		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1	2	3	4	5	6	7
	待機		29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	22	23	24	25	26	27	28
第6 ターン	競技		29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	22	23	24	25	26	27	28
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—